

春の小川通信

だれもが安心して暮らせる地域に。
障がい者の地域での暮らしを支援しています。

2022. 10

NO.39



特定非営利活動法人 春の小川

〒399-0706 長野県塩尻市広丘原新田 93-1
電話/FAX 0263-51-6393 E-Mail sarasara@dia.janiss.or.jp
発行責任者/理事長 小沼芳博

選挙同行見聞録

理事長 小沼 芳博

今年は、参院選や県知事選、9月には市長選と選挙が多い年となりました。以前にも書きましたが、グループホームの入居者のみなさんは、以前より、希望する限り期日前投票を利用して選挙に参加しています。投票所には支援を必要とする方の為に係の方がおり、文字が書けない場合は代筆を依頼ができます。問題は文字が読めない障がい者の場合で、口頭での説明も困難な場合が多く、メモや写真を持ち込むことは実質困難な状況を踏まえると、現場でどうやって投票をしているのか少々不安になります。文字がダメなら写真等での選択等改善方法は想定されるところです。不正防止のため制限があることは理解しますが、文字が認識できない投票者への配慮がもう少しできないものかと思ってしまうます。

今回、投票所出口で投票を終えた年配の方々が、「字が小さくて読めなかったね。名前を書くのは大変だあ!」と話している声が聞こえてきました。障がい者に効果がある対策は、高齢者を含めた全ての人のにとっても優しい対応だと思います。

入居者の方々が、選挙も含め様々な成功、失敗体験を経験することにより、意思決定能力が高まり生きがいを持って生活できることが重要で、いわゆる共生社会とは、日常生活の小さな改善の積み重ねから生まれると信じています。これからも、様々な場を通じ合理的配慮の観点から働きかけを継続しなければという思いを新たにしました。

相談支援事業所 つくしんぼ

相談支援専門員 小松 須美子

先日 A さんが初めて B 型事業所を利用するにあたって支援会議を開きました。出席者は A さん、市福祉課、ボイス（総合相談支援センター）、B 型事業所の担当者と私です。会議で A さんは「人見知りなので大勢いる所は苦手ですが、働いてみたいです」と話して下さいました。A さんの思いに添って、今後どのような支援をしていけばよいか皆で話し合いました。

支援会議はご本人が安心して日々過ごせるように、関係者が集まり、ご本人の思いをお聞きし、日頃の様子を共有しながら、より良い支援につなげるために開きます。

ご本人は思いを言葉や、言葉にする事が難しい方は単語や表情、ジェスチャー等で伝えて下さいますが、本当の気持ちを引き出す事に難しさを感じています。

支援会議で関係者の皆さんの日頃のご支援に感謝し、ご本人にエールを送りたいと思っています。



支援会議の様子